

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2019年2月25日

事業所名 のぞみスター（数字は%）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	60		現在増築中
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25	療育に必要なより専門的な資格を持つ職員の採用を考えている・以前より改善されている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		10	バリアフリー化はしている。・部屋の使い方は、わかりやすいように個々のマークを決めており、大きな絵カードなどを掲示している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90	10	現在の子どもの人数では活動するには狭く感じるが部屋を分けて工夫している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50	50	・職員会議に参加できることもあるので質問して教えてもらうように気をつけています・非常勤職員には会議録で伝えている・振り返りノートを作り、誰でもいつでも見れるようにしている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80	20		アンケート結果を職員全員で共有し、一つずつ改善に向けての話し合いをしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	50	50		今回、初めてアンケートを実施、ホームページにて公表予定。公表時期を保護者に知らせる
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	75	25		検討していく

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80	20	定期的ではないが職員対象の研修を行った	テーマを決めて、定期的に研修をしていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	90	10	作成前に保護者からの聞き取りや会議で話し合い、作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80	20		
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	90	10		
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	90	10		個別支援は個々の必要性に応じて行われているが今後、毎日の活動の中でそれぞれ計画を立てていくことを検討している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80	20		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	子どもたちが飽きない工夫はしているが継続して取り組む活動（制作など）があると今後良いと思う・季節に応じ野菜収穫や制作を考慮している	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	85	15		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90	10	出勤時間が違う職員には個別で伝えている・携帯アプリで支援する内容を共感している	

	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	70	30	・職員会議で質問して教えてもらうように気をつけています・非常勤職員には会議録で伝えている・振り返りノートを作り、誰でもいつでも見れるようにしている	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0		
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0		
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか				
関係機関や保護者	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0		
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100	0	子どもが関係する他機関との情報共有を行っている	
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0		

この連携関係機関や保護者との連携	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	移行先の小学校に対し、情報提供し、必要に応じて様子観察に来ていただいている	
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100	0		
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	30	70		職員全員や子ども同士の交流はない。今後、相互体験などを踏まえ前向きに考えていく
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	80	20		地域に子ども部会はない
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	連絡帳で伝えあっている・送迎時に保護者と話が出来る時間を設定している	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	70	30		個々に助言なども行っているが、保護者対象の研修も実施していく必要性を感じている
保護者への	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	100	0		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	必要に応じて相談助言をおこなっている	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60	40		新年度より保護者会開設を検討している

の 説 明 責 任 等	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0		
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40	60		今後、検討していく
非 常 時 等 の 対 応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	85	15		各対応策の策定と、全職員と保護者に書面で伝えていく
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	毎月火災、地震、不審者を想定した訓練は実施していて、その様子を写真や記録で残している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	90	10	利用前のアセスメントで聞き取りをしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	85	15	現在、診断を受けた利用児はいない	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90	10	ヒヤリハットノートを作成し、いつでも職員が見られるようにしている	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90	10		今後研修の機会を増やしていく
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	85	15		過去に身体拘束を必要とする事例がなかったが、今後検討していく

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。